

安心して住み続けられる まちづくりに向けて

～庄原いちばんづくりの取り組み～

令和6年度 市政懇談会



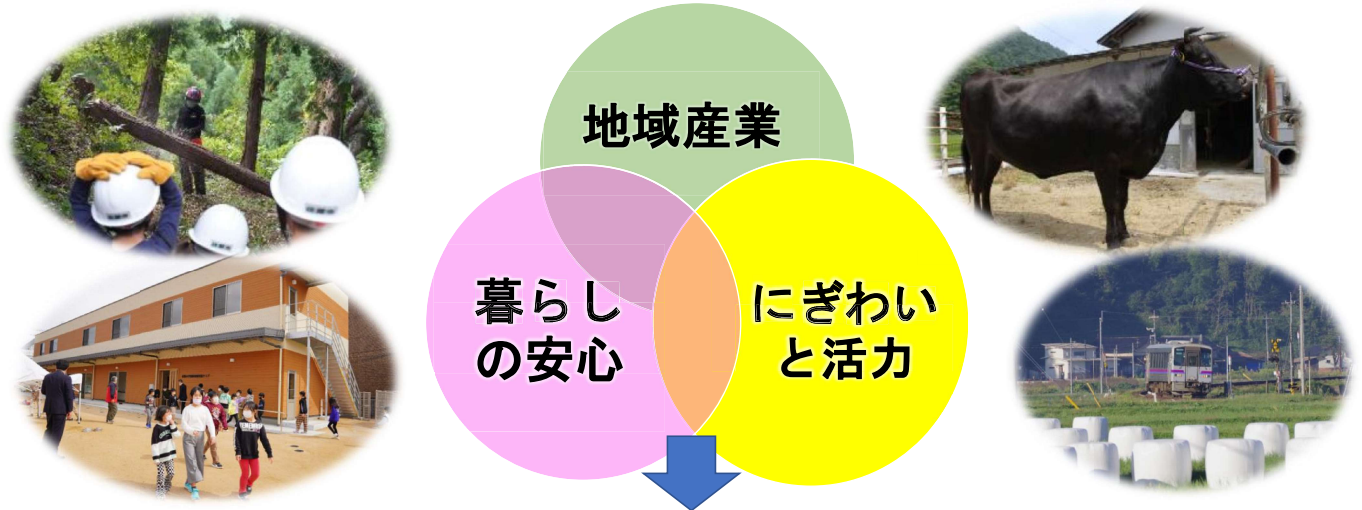
目次

- 1 庄原いちばんづくりとは…
- 2 庄原いちばんづくりの取り組み
- 3 庄原いちばんづくりの成果
- 4 庄原市の人口動態について
- 5 安心して住み続けられるまちづくりに向けて

1 「庄原いちばんづくり」とは…

「地域産業」「暮らしの安心」「にぎわいと活力」の3つの柱（分野別政策）で構成しています。

※「いちばん」とは、数値や量、順位などを他者と比較したものではなく、「しあわせ」や「安心」、「達成感」や「満足感」といった、心の「いちばん」を実感できることを意図しています。



「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と実感してもらえる まちづくり

1 庄原いちばんづくりとは…

第2期庄原市長期総合計画

目標とする「まちの姿」やその実現に向けた基本政策を整理したもの
計画期間：平成28年度～令和7年度

庄原いちばんづくり

長期総合計画に示す政策及び施策のうち、重点的に取り組む施策等を整理したもの

第1期「庄原いちばんづくり基本計画」平成25～26年度

第2期「庄原いちばんづくり基本計画」平成27～28年度

第1期「庄原いちばんづくり」平成29～令和2年度

第2期「庄原いちばんづくり」令和3～令和6年度

第3期長期総合計画・いちばんづくりの策定を予定

2 庄原いちばんづくりの取り組み

【政策1】「地域産業」のいちばん

〔政策の方向性〕

本市の経済・雇用を底支えてきた農林業や商工業等のポテンシャルを高め、強靱かつ、しなやかな地域の産業構造を構築するとともに、先人により培われてきた伝統を継承しつつ、新たな時代の潮流を取り込み「庄原の強み」を最大限活かす産業ビジネスモデルを構築します。

■新たな可能性で切り開く“稼ぐ”地域産業の構築

- 農業法人の育成・新規就農者の支援
- 循環型林業の推進・森林経営管理の推進
- (株)ウッドワン・(株)フォレストワンとの立地協定・工場誘致
- 森林体験交流施設の整備
- 林業技術研修会・林業学校等への就学支援
- 中小企業振興対策

■“食の宝庫庄原”の強みを活かしたブランディング

- 比婆牛ブランドの復活・GI登録・G7サミットでの提供（比婆牛増頭・ブランドPR等）
- 「庄原産米」のブランドづくり

■新たな時代の潮流を取り込んだビジネスモデルの構築

- 市独自のキャッシュレス決済カード（なみか・ほろか）の導入
- サテライトオフィスの誘致

など



2 庄原いちばんづくりの取り組み

「地域産業」のいちばんのピックアップ事業

①庄原産材の活用推進・原木供給・需要の促進

- 市内への製材工場誘致に取り組み、本年4月に(株)フォレストワンの製材工場が稼働
- これまで市外・県外へ流出していた庄原産材を市内供給する仕組みを構築し活用を推進するため、原木を出荷する森林所有者と購入する市内製材事業者へ奨励金を交付
- ⇒庄原産材を活用した木材製品の商品化を促進し、知名度と価値の向上によるブランド化につなげ、森林所有者への利益還元を図る。
- ⇒「儲かる循環型林業」の推進



②有害鳥獣処理施設の整備

- 有害鳥獣の被害は年々増加し、地域を悩ませる大きな問題となっている。近年は鹿の捕獲頭数も増加
- 捕獲者の負担を軽減し、捕獲促進につなげ営農意欲の維持を図るため、鹿の受入にも対応する新しい処理加工施設を整備



【政策2】「暮らしの安心」のいちばん

〔政策の方向性〕

地域の未来を担う「次代の主人公」である子どもから、日々の暮らしを重ね、地域の歴史を創ってきた高齢者まで、全ての世代の市民が、安らぎと静穏に満たされた活力ある生活を営むことができるよう、仕組みと基盤を整えます。

■安心を実感できる子育て環境の整備

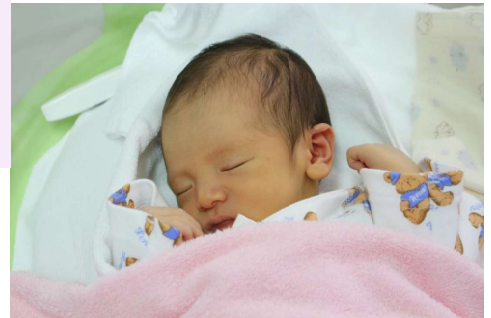
- 産科再開（周産期医療運営補助）・「こども未来広場」の整備
- 子育て世帯の支援の充実（出産祝金・入学祝金・保育料の軽減・医療費助成等）
- 産前サポートと産後ケアの強化
- 放課後児童クラブ整備
- 保育所ICTシステムの導入（令和6年度新規）

■安心・安全で快適に暮らせる生活環境の確保

- 「超高速情報通信網」の整備
- 新焼却施設の整備・東城ストックヤード施設整備
- 介護人材の確保支援・買い物弱者支援・高齢者冬期安心住宅の整備
- 脱炭素地域の推進
- 庄原市の医療体制に係る調査（令和6年度新規）

■地域で活躍できる次代を担う人材育成

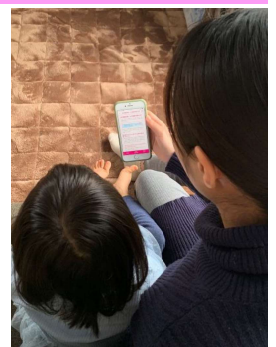
- 学校教育環境の充実（耐震化・エアコンの整備・トイレの洋式化等） など



「暮らしの安心」のいちばんのピックアップ事業

①産前サポートと産後ケアの強化

- 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援(産前サポート事業、産後ケア事業、産婦健康診査)を提供
- 育児不安の軽減や虐待予防に寄与することを目的に事業を進めている。
- 令和2年度に導入した電子母子手帳アプリ「母子モ」の機能拡充を行うことで利用者の利便性を向上させ、子育て世代の負担軽減を図る。



②子どもたちと多世代の集いの場の整備

- 子育て世代をはじめ、誰もが気軽に集い・憩うことのできる「子どもたちと多世代の集いの場」を整備する。
- 多様な交流を促進し周辺施設との相乗効果による賑わいの創出、交流人口・関係人口の増加を図ることを目的とし、令和6年度では、施設整備に向けた基本計画の策定と測量・実施設計に取り組む。



【政策3】「にぎわいと活力」のいちばん

〔政策の方向性〕

本市に縁のある幾多の人々の力を得ながら、活力の源である人口を維持するため総力を結集すると共に、本市で生活する人や訪れる人の動線を見つめ直し、多様な資源を用いた効果的な連携軸を描くことで、新たな潮流を作り出します。

■人口ビジョンに基づく将来人口の確保と地域課題解決への挑戦

○移住・定住促進対策（移住・定住トータルサポート、空き家バンク等）

■賑わいを生み出すさらなる魅力の創出

- 国営備北丘陵公園北エリアの活用
- 東城交流拠点施設（遊YOUさろん東城）の改修に向けた計画策定（令和6年度新規）
- 都市計画マスタープラン改定
- 庄原市民会館・庄原自治振興センター整備

■多様な地域資源を結び、輝かせる連携軸の構築

- 比婆いざなみ街道物語の推進
- 国定公園帝釈峡記念事業による活性化
- アウトドア施設の活用促進



「にぎわいと活力」のいちばんのピックアップ事業

①庄原ファンクラブ活動の充実・庄原いちばんづくり留学

- ファンクラブ会員は現在約2,100人・活動の充実・会員増
- ⇒関係人口の創出による活力あるまちづくりを目指す。
- ファンクラブ活動の一環として、全国の若者が本市で仕事や暮らしに挑戦・体験する「庄原いちばんづくり留学」を実施
- ⇒参加者と市、地域の人たちと一緒に地域の活性化に向けた取り組みを進める。



②県立広島大学・至学館大学との連携事業

- 県立広島大学庄原キャンパスと将来にわたる強固な関係を維持するために、これまで以上に連携
- ⇒入園・駐車料無料の社会実験を行っている備北丘陵公園北エリアに市民・地域と大学・学生の活性化を推進するため、庄原キャンパス「サテライトラボ」が開設
- 新たに地域住民と協働した地域活性化の取り組みを実施
- 至学館大学の強みの「健康づくり」「アスリート育成」などの分野における相互連携を図る。



3 庄原いちばんづくりの成果

取り組みの成果（１） ⇒ 社会減の減少幅が縮小傾向

転入 － 転出 ＝社会増減の推移を見ると…

①庄原いちばんづくりの取り組み実施前（単位：人）

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H18～24の平均
社会増減	▲289	▲290	▲203	▲171	▲153	▲245	▲132	▲211.9

②庄原いちばんづくりの実施期間（単位：人）

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
社会増減	▲137	▲149	▲166	▲133	▲217	▲153	▲148

R2	R3	R4	R5	H25～R5の平均
▲265	▲198	▲136	▲129	▲166.5

※住民基本台帳より

3 庄原いちばんづくりの成果

取り組みの成果（２） ⇒ 移住定住者は近年増加

移住定住施策を利用して移住された世帯・人数

①庄原いちばんづくりの取り組み開始以前の状況

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	6年間の平均
世帯数	17	14	29	7	7	9	13.8
人数	40	24	53	13	13	19	27.0

②庄原いちばんづくりの取り組み開始後の状況

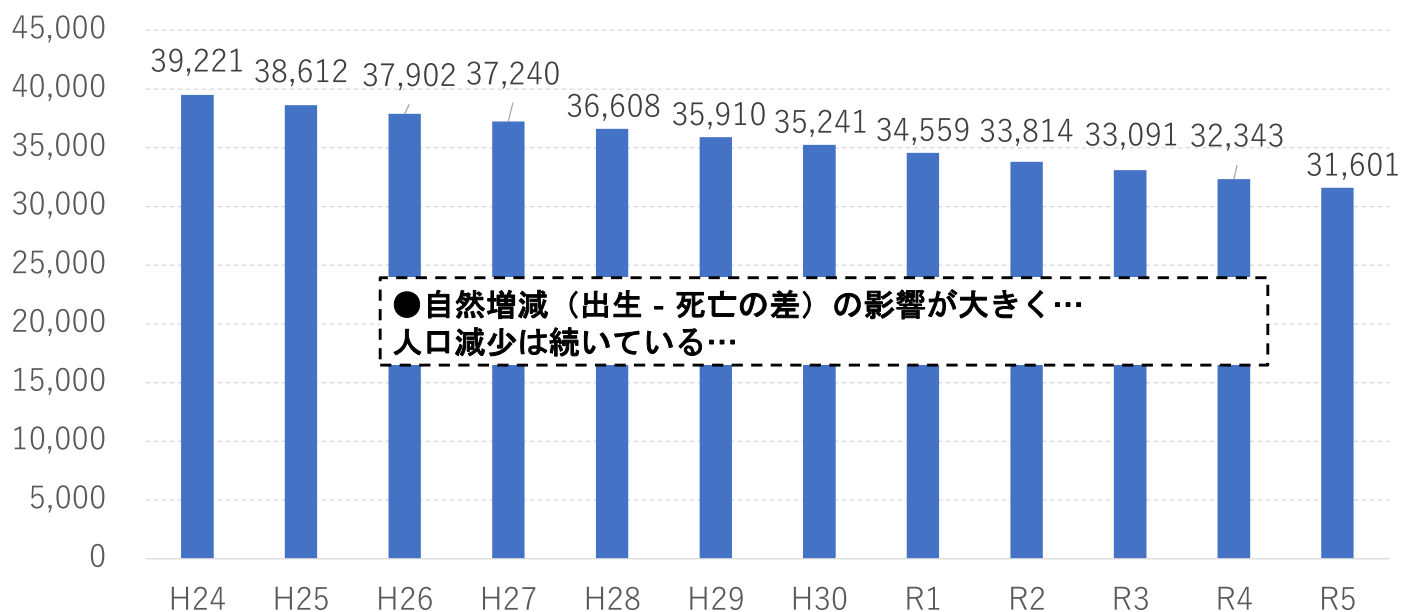
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
世帯数	16	25	31	32	32	37
人数	45	53	73	74	77	87

R1	R2	R3	R4	R5	11年間の平均
31	28	19	28	28	27.9
64	69	33	71	53	63.5

※自治定住課調べ（統計数値は平成19年度より開始）

4 庄原市の人口動態について

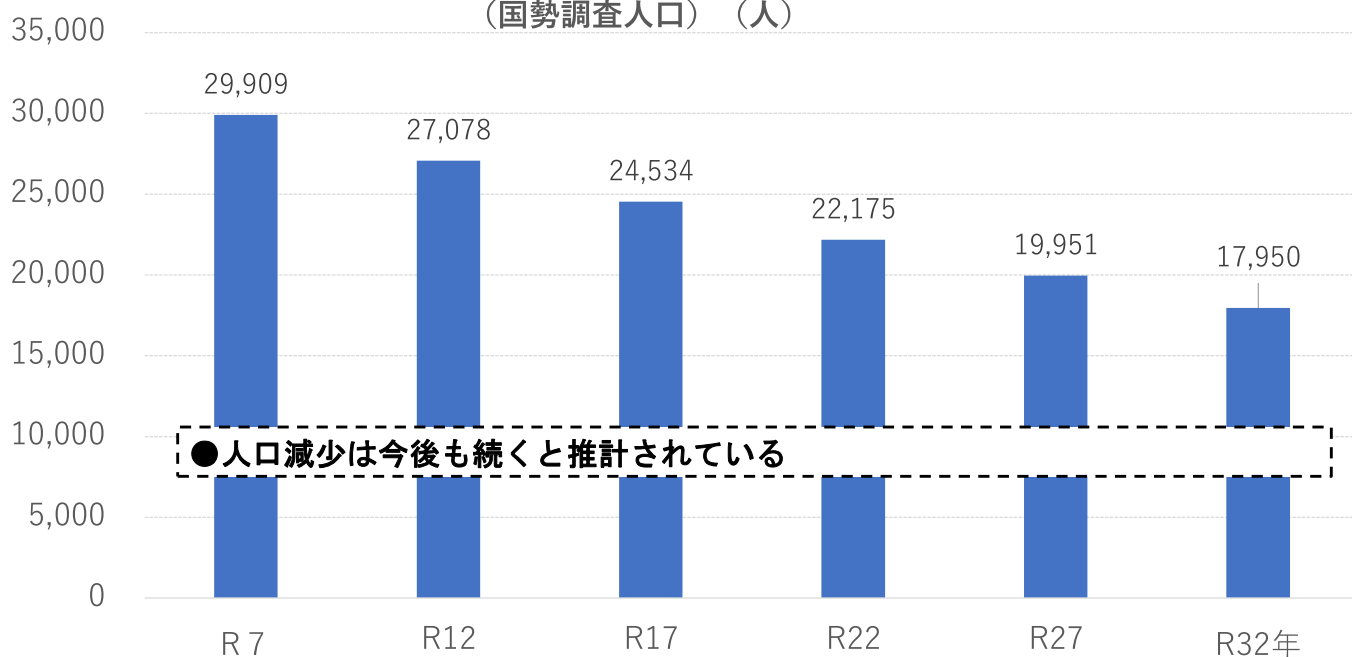
人口の推移（各年度末住民基本台帳）（人）



4 庄原市の人口動態について

国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計数値

（国勢調査人口）（人）



5 安心して住み続けられるまちづくりに向けて

「庄原いちばんづくり」の取り組みを進めてきた

地域産業のいちばん

暮らしの安心のいちばん

にぎわいと活力のいちばん

取り組みの成果

- 本市への移住定住者は近年増加
- 社会減の減少幅が縮小傾向

●自然増減（出生 - 死亡の差）の影響が大きく…
人口減少は続いている…今後も続くと推計されている

今後も安心して住み続けられるまちづくりに向けて…

庄原いちばんづくりで取り組んだ各種施策等を進化させるとともに、
中長期的な視点により、次のような新たな取り組みの実施が必要と考えています。

庄原いちばんづくりの各種施策の進化

5 安心して住み続けられるまちづくりに向けて

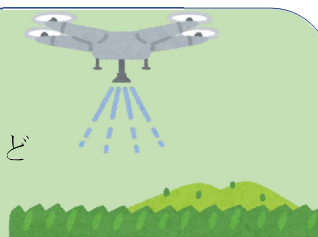
地域産業のいちばんの分野

①人材確保に向けた新たな取り組み

○半農半Xなど副業で働く人が安定的な収入を得られる仕組みの導入支援 など

②デジタル技術の活用による課題解決

- 農林業等地域産業へのデジタル技術の普及・導入を支援し、生産効率の向上・労力の省力化
- 有害鳥獣駆除・防除へのドローンやデジタル技術など新技術の導入支援 など



暮らしの安心のいちばんの分野

①デジタル技術の医療・保育・高齢者施策への活用検討

- オンライン診療の活用について調査・研究
- 高齢者の緊急通報体制等にデジタル技術導入の検討 など



にぎわいと活力のいちばんの分野

①空き家の活用等による定住促進

○増加が予想される空き家を有効活用し、移住・定住者の支援につなげる
仕組み等の構築 など

②関係人口創出による地域活力の維持

○庄原ファンクラブ会員の庄原に関与を強める取り組みを充実
⇒地域産業や地域活動に関わってもらい地域活力を維持
○庄原いちばんづくり留学により若者を庄原市に呼び込む
⇒あわせて移住を促進し、移住を希望する人の働く場を確保し、
安定的な収入を得られる仕組みの導入支援 など

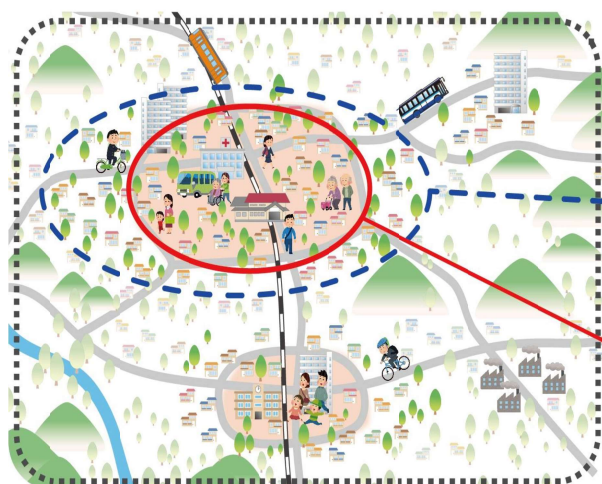


中長期的な視点（10年、20年後の将来を見据えると）

庄原いちばんづくりの各種施策の進化と合わせて、「都市拠点と地域拠点の適正化と充実、相互連携によるまちづくり」

（コンパクト・プラス・ネットワーク）を進める必要があります。

「コンパクト・プラス・ネットワーク」とは…



医療・福祉・商業などの生活サービス施設を集約し、公共交通等のネットワークにより、各拠点に容易にアクセスできるまちづくりの考え方です。

居住誘導区域

災害のリスクが少ない居住を推進するエリア

都市機能誘導区域

医療・福祉・商業施設が集約されたエリア

コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ

5 安心して住み続けられるまちづくりに向けて

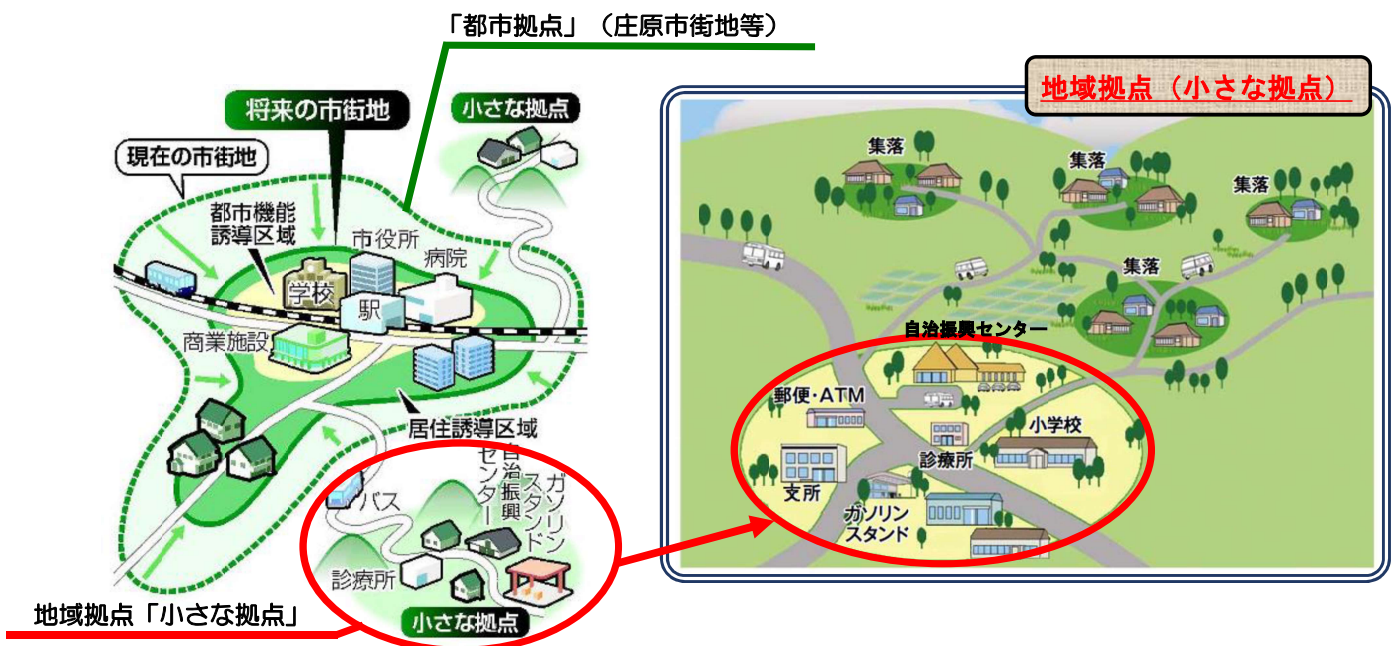


庄原地域の市街地
⇒都市拠点
東城地域の市街地
⇒準都市拠点
西城地域の市街地
⇒生活拠点
口和・高野・比和・総領支所周辺
⇒地域拠点（小さな拠点）

	高速道路等
	国道等
	県道等
	鉄道
	主要河川

コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ

5 安心して住み続けられるまちづくりに向けて



「都市拠点と地域拠点の適正化と充実、相互連携によるまちづくり」(コンパクト・プラス・ネットワーク)のめざす姿

- ①みんなが快適に暮らし、生活環境の充実したにぎわいと活力のあるコンパクトなまちづくり
 - 若者から子育て世代、高齢者まで誰もが暮らしやすい居住環境の整備
 - 市民が出会い交流でき、居心地の良いまち
- ②本市の地域資源や魅力を生かした、持続可能なまちづくり
 - 環境に配慮した脱炭素社会のまち
 - 市民ニーズに応じた公共施設等の維持
 - 地域の自然環境と調和し、地域の個性と魅力を生かしたまち
- ③人が生活しやすく、災害等への備えが充実し、住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるまちづくり
 - 市民生活を支える機能の適切な誘導による生活利便性の高いまち
 - バリアフリーなどに配慮した道路環境などが充実した誰もが住みやすいまち
 - 防災・減災に向けた多様な対策により、安心・安全に暮らせるまち

安心して住み続けられるまちづくりに向けては…
「コンパクト・プラス・ネットワーク」につながる取り組みが重要

安心して住み続けられるまちづくりを進めるためには…

**少しでも早く課題解決に向けた
新たな取り組みをはじめべき**

今のうちから何をしていくべきか一緒に考えていきましょう！

皆さんのお考えやご意見をお聞かせください。